



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月16日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	37,756	12.9	906	—	1,131	—	1,144	—
2023年8月期第3四半期	33,433	27.7	△457	—	△497	—	△1,084	—

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 977百万円(—%) 2023年8月期第3四半期 △984百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	54.52	—
2023年8月期第3四半期	△51.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第3四半期	33,824	10,210	30.2	486.58
2023年8月期	33,188	9,485	28.6	452.01

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 10,210百万円 2023年8月期 9,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年8月期	—	6.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年8月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,080	12.3	960	—	1,110	—	1,090	—	51.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期3Q	21,198,962株	2023年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	213,868株	2023年8月期	213,790株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期3Q	20,985,116株	2023年8月期3Q	20,985,204株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、現在の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行し経済活動の正常化が進む中で、個人消費は持ち直しに足踏みがみられるものの、景気は緩やかに回復しつつあります。一方でロシア・ウクライナ等の国際情勢の悪化、円安の進行、物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の改善やインバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、原材料価格・光熱費等の上昇や、物価高による節約志向の高まり、人手不足の影響等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たすと共に、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献するなどの基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、企業価値の向上を目指し早急な業績の改善を図るため、強化業態を中心とした新規出店及び業態変更の推進、「旬メニュー」の提供などのメニュー戦略及びデジタルマーケティングによる集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の拡大、不動産事業・フランチャイズ事業等の収益力強化、研修制度の充実や賃上げの実施、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による業務効率化推進等の施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を7店舗、店舗改装を13店舗、店舗閉鎖を7店舗(うちVC(ボランティアチェーン)への移行を1店舗)で行った結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は333店舗(直営244店舗、フランチャイズ39店舗、VC50店舗)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ12.9%増加の37,756百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、卸売と運送を一体化した総合物流サービスの展開を推進していくことを踏まえ、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。

セグメントの前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

飲食事業につきましては、足許の飲食事業の回復や各種営業施策への取組み等により、売上高は前年同期に比べ4.8%増加の17,694百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ23.6%増加の17,907百万円となりました。

不動産事業につきましては、ほぼ横ばいの1,217百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、VC店舗の増加に伴い営業権利用料が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.8%増加の687百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ20.5%増加の249百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は906百万円(前年同期は営業損失457百万円)、経常利益は1,131百万円(前年同期は経常損失497百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,144百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,084百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,130百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,175百万円増加となりました。これは、現金及び預金が2,086百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は18,687百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,537百万円減少となりました。これは、投資有価証券が789百万円、土地が360百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,587百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,061百万円増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3,470百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,025百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,150百万円減少となりました。これは、長期借入金が2,919百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,210百万円となり、前連結会計年度末に比べて725百万円増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,144百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期連結業績予想につきましては、2024年4月15日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,165	10,251
売掛金及び契約資産	3,082	3,113
商品及び製品	983	936
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	100	100
未収入金	43	48
その他	603	704
貸倒引当金	△23	△25
流動資産合計	12,954	15,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,354	6,008
機械装置及び運搬具（純額）	542	525
工具、器具及び備品（純額）	269	277
土地	4,222	3,862
リース資産（純額）	261	218
建設仮勘定	157	160
有形固定資産合計	11,808	11,052
無形固定資産		
借地権	1,759	1,763
ソフトウェア	107	91
その他	126	126
無形固定資産合計	1,994	1,981
投資その他の資産		
投資有価証券	883	94
出資金	1	198
長期貸付金	5	6
差入保証金	3,559	3,431
敷金	1,611	1,546
繰延税金資産	244	277
その他	163	113
貸倒引当金	△47	△14
投資その他の資産合計	6,422	5,653
固定資産合計	20,225	18,687
繰延資産		
社債発行費	7	6
繰延資産合計	7	6
資産合計	33,188	33,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,319	2,158
短期借入金	160	160
1年内返済予定の長期借入金	3,781	7,251
1年内償還予定の社債	110	90
リース債務	113	116
未払金	1,524	1,553
未払法人税等	94	86
未払消費税等	518	403
賞与引当金	232	120
株主優待引当金	234	197
店舗閉鎖損失引当金	0	—
資産除去債務	21	—
その他	414	449
流動負債合計	9,526	12,587
固定負債		
社債	315	225
長期借入金	9,976	7,056
リース債務	297	221
退職給付に係る負債	1,632	1,608
役員退職慰労引当金	191	208
受入保証金	897	830
資産除去債務	785	789
繰延税金負債	78	83
その他	2	1
固定負債合計	14,175	11,025
負債合計	23,702	23,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,871	7,657
利益剰余金	579	2,680
自己株式	△250	△250
株主資本合計	9,301	10,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	22
土地再評価差額金	△5	—
その他の包括利益累計額合計	184	22
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,485	10,210
負債純資産合計	33,188	33,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	33,433	37,756
売上原価	19,682	22,981
売上総利益	13,751	14,775
販売費及び一般管理費	14,209	13,869
営業利益又は営業損失(△)	△457	906
営業外収益		
受取利息	3	15
受取配当金	4	2
受取保険金	25	47
貸倒引当金戻入額	2	1
投資有価証券売却益	4	235
その他	83	103
営業外収益合計	124	405
営業外費用		
支払利息	60	69
支払手数料	32	41
その他	71	69
営業外費用合計	164	180
経常利益又は経常損失(△)	△497	1,131
特別利益		
固定資産売却益	6	86
受取補償金	37	178
特別利益合計	44	264
特別損失		
固定資産売却損	1	10
固定資産除却損	56	53
減損損失	372	34
店舗関係整理損	82	6
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	—
特別損失合計	521	104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△974	1,292
法人税、住民税及び事業税	89	87
法人税等調整額	19	60
法人税等合計	109	147
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,084	1,144
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,084	1,144

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,084	1,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	△167
その他の包括利益合計	99	△167
四半期包括利益	△984	977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△984	977
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロ ジスティ クス事業	不動産 事業	フラン チャイズ 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	16,889	14,489	—	—	31,378	207	31,585	—	31,585
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	638	638	—	638	—	638
顧客との契約から 生じる収益	16,889	14,489	—	638	32,016	207	32,223	—	32,223
その他の収益(注)4	—	—	1,209	—	1,209	—	1,209	—	1,209
外部顧客への売上高	16,889	14,489	1,209	638	33,226	207	33,433	—	33,433
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	4,573	145	0	4,724	196	4,921	△4,921	—
計	16,893	19,062	1,355	639	37,951	403	38,354	△4,921	33,433
セグメント利益又は損失 (△)	150	244	271	239	906	△11	895	△1,352	△457

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,352百万円には、セグメント間の取引消去434百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,787百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において362百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロ ジスティ クス事業	不動産 事業	フラン チャイズ 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	17,694	17,907	—	—	35,601	249	35,851	—	35,851
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	687	687	—	687	—	687
顧客との契約から 生じる収益	17,694	17,907	—	687	36,289	249	36,538	—	36,538
その他の収益(注)4	—	—	1,217	—	1,217	—	1,217	—	1,217
外部顧客への売上高	17,694	17,907	1,217	687	37,506	249	37,756	—	37,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	5,432	136	0	5,574	240	5,815	△5,815	—
計	17,699	23,339	1,353	688	43,080	490	43,571	△5,815	37,756
セグメント利益	1,156	552	289	261	2,260	4	2,264	△1,358	906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. セグメント利益の調整額△1,358百万円には、セグメント間の取引消去388百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,746百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において17百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、賃貸不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において16百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。詳細は、「第2 事業の状況 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」に記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。